

## 令和4年度 会派「ひかり」管外視察報告書

報告者：西田 真

1. 視察月日：令和4年10月4日（火）～6日（木）
2. 視察場所：岐阜県高山市、飛騨市  
及び課題 高山市の観光：国内観光、インバウンドについて  
飛騨市の観光：地域資源の価値創造とその仕組みづくりについて

### 3. 視察者：

豊岡市議会から4会派 計7名参加、

【ひかり】西田 真、太田智博議員、義本みどり議員

【豊岡市議会公明党】竹中 理議員、芦田竹彦議員

【会派おおぞら】前野文孝議員

【つなぐ】前田敦司議員

### 4. 視察内容

#### 1日目

高山市の観光：国内観光、インバウンドについて

高山市 飛騨高山プロモーション部 観光課 清水浩一課長

#### 高山市の概要

人口は平成12年（西暦2000年）の約97,000人をピークに以降減少に転じている。現在は約84,000人、面積は日本一広い市で2,177.61km<sup>2</sup>その内92.1%を森林が占めている。

労働者人口は約50,000人だが、今後は約30,000人に減ってしまうと予測される。

宿泊業及び観光産業が中心の市で、弱いところは情報通信、広告産業がマイナス成長。

マイクロツーリズム、岐阜県の宿泊数がコロナ禍でも若干増えている。

観光消費額、宿泊35,000円 日帰り8,000円。

高山市の魅力は歴史的文化資源が豊富で、春と秋の高山祭（平成28年12月1日に「山・鉾・屋台行事」がユネスコ無形文化遺産に登録）、古い町並み、三町、下二之町大新町（国選定重要伝統的建造物群保存地区）

## (1) 観光施策

### ・飛騨高山ウルトラマラソンの開催

2012年から開始、累積標高差が約2,500mで、日本屈指の過酷なコース。

参加状況は、第7回大会で45都道府県から3,457人。

ボランティアは、約1,400人が参加。

今まで続いている理由は、地域のボランティアによる協力や、飛騨牛の串焼き、そば、冷やしたトマト等の提供が大きく貢献している。

評価は、全国ランニング100選で6回受賞している。

参加者はリピーターが多い。前市長の時には市長自らゴールで迎えていた。

## (2) 観光戦略

### ・松本高山 Big Bridge 構想

中部山岳国立公園南部地域を間に挟み、松本市街地と高山市街地を繋ぐ横断ルートを

“Big Bridge (ビッグブリッジ)”と位置付け、多彩で上質な体験と滞在が出来る魅力的な観光ルートの整備に向けて、地域関係者等で連携するプロジェクトチームメンバーで築き上げていく構想。

新たな観光圏の確立を目指す取り組みである。

松本市との姉妹都市提携は51周年。

## (3) 観光戦略の今後の課題

### ①今後の観光振興について

- ・観光関連データ収集の強化。
- ・観光客ニーズ把握の強化。
- ・行政・団体・事業者・市民の役割分担の明確化。

### ②今後さらに求められる視点・キーワード

- ・滞在型・周遊型観光。
- ・文化資源と自然資源 (様々な旅行形態)
- ・地域資源の活用方法 (付加価値、体験、手段)
- ・持続可能な観光地づくり (ルールづくり、人材の確保)

### ③検討事項

- ・魅力的な観光地づくりに向けた取り組みの検討。
- ・高地を活用したヘルスツーリズム。
- ・法定外税 (宿泊税) 導入の検討。

#### (4) 海外戦略

多言語にこだわりニーズのあった情報発信。

WiFi 環境の整備。

機能的なインフォメーションオフィスを駅前とまち中の2ヶ所に設置。

観光ガイドの取り組み。無料の外国人観光ガイド、ボランティア通訳ガイドの配置。

おもてなし国際化促進事業補助金。看板等の作成に対しての補助金の交付。

動向やニーズに合った誘客。

人口の7倍以上の外国人観光客が宿泊する。

#### (5) 外国人観光客の評価

##### ① コロナ禍におけるインバウンドへの取り組み

- ・ Deaming アクション。

高山への訪問を想起させる、高山を忘れさせない取り組み。

- ・ Planning アクション。

高山市への訪問のために計画させる取り組み。

- ・ Welcoming アクション。

訪問した時にごっかりさせない受入環境の整備に向けた取り組み。

外国人向けワンストップ医療相談窓口の設置。

#### (6) 飛騨高山ブランド戦略

飛騨高山ブランドコンセプト。

飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物、それが『飛騨高山ブランド』

※高山時間・・・ブランド戦略では、「都会の喧騒から離れてゆったりと過ごすことができる飛騨高山の時間」

## 高山市 視察質問

テーマ 1	国内観光施策について	質問者
	<p>・高山市は豊富な観光資源を持っておられるが、その各々の効果的な魅力のPR方法等は。</p> <p>【答え】 印刷物の提供 夏前にうちわ 冬場はタオル 行政でHP 観光協会のHP 一元化した 若い世代にはインスタ等 SNS 観光情報発信 観光協会に1億円補助 東京・デジタルサイネージ してもらった</p>	西田議員
	<p>・観光施策に対する費用対効果の分析はどのような分析されているのか。</p> <p>【答え】 予算規模 8億 全体の2%の規模 観光消費額400億</p>	西田議員
	<p>・観光業収入の比率はどうなっているのか？</p> <p>【答え】 概ね7割</p>	西田議員
	<p>・高山市は多彩な観光資源を活用した観光のまちづくりをされているが、市として祭りなどの無形文化財の保存に関して補助金などを出されているのか。</p> <p>【答え】 高山祭 修理費は市が補助1割 国半分補助 県4割 組 修理1千万かかる 以外にもユネスコ補助 屋台を修理する</p>	竹中議員
	<p>・平成13年に制定された「潤いのあるまちづくり条例」の内容と狙いは何か。</p> <p>【答え】 ねらい 高山の景観を雰囲気を守るため 内容 具体的には高さ制限 地区ごとに設ける 看板の色の規制 開発をする際に条例にもとずいて</p>	竹中議員
	<p>・「農山村体験」(グリーンツーリズム)の予算額と執行額は</p> <p>【答え】 特化した予算はない 教育旅行を発信したり、HPを作った</p>	竹中議員
	<p>・飛騨高山ウルトラマラソンで多くのボランティアに協力いただいている秘訣はなにか。</p>	前田議員
	<p>・スキー場との連携の現状と課題はなにか</p> <p>【答え】 施設が50年以上が多い、収支がマイナスが増えている。スキー需要者が減っている。3つのスキー場</p>	前田議員
	<p>・アクティビティ事業者として有名な里山エクスペリエンスとの連携は。</p>	前田議員
	<p>・国内と海外では観光客のニーズが異なると思われるが、海外に力をいれつつ、国内観光施策はどのようなことに配慮しているか。</p>	義本議員

	国内観光は団体は平日だったが最近は土日が多い。インバウンドは雪や春節に時期に合わせ来る。東山の遊歩道 墓地 欧米の方は墓地を歩く	
	・近隣の自治体との連携でさえなかなか難しいのに、県をまたいで、金沢市や松本市などとの連携が成功した理由はなにか。	前野議員
	・古い町並みの徹底した景観の保全が進んでいると感心する。市街地経験保存条例、屋外広告条例、ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例などの高架と市民の反応は。 【答え】 新規に高いビルは建てない。ファミマな外観を変更。 ほぼ好意的に受け入れられている。	前野議員
	・二次交通の課題から周辺地域への波及効果を生みにくい状況がおおいが、高山市での状況はどうか。二次交通業者との連携はどのように進められているのか。 【答え】 高山市のバス事業者1社 2次交通 JR 高速バス アニメとのコラボバスにラッピング	
テーマ 2	インバウンド施策について	質問者
	・海外戦略部の現状と課題は何か 【答え】 外郭団体 民間事業者 プロモーション 里山エクスペリエンス お客が来ていない。欧州 持続可能な観光	西田議員
	・海外へ職員を派遣しているが、その効果と課題は何か。 【答え】 現在日本政府観光局1名 タイバンコク1名 戦略は派遣 フランスパリに取り扱ってくれるお店を選ぶ 国内はJNTO1名 ジェトロ1名	西田議員
	・観光客誘致における官民連携と広域連携の課題は何か。 【答え】 目的が違う部分をまとめる	西田議員
	・外国人観光客の目標値。平均連泊数及び平均単価は 【答え】 特には設定はしていない。平均連泊数2.09 平均単価	西田議員
	・観光税等の目的と用途、課題は何か。 【答え】 必要性を共有して進めていく	西田議員
	・災害等緊急時の外国人観光客の対応はどうされているか。 【答え】 Wi-Fiの整備 避難所の開設 緊急対応コミュニケーション制度ボランティアベース 実施したケースがない	西田議員
	・今後のインバウンドの計画はコロナ前と同じ目標とされるのか。 【答え】 おおまかに細かな計画は作っていない。台湾、タイ、を市場の重点的とみる。 台湾が一番多い タイは3番目に多い地域 入国制限が緩和された	竹中議員
	・海外プロモーションではトップセールスが一番のポイントだとされている。	竹中議員

	<p>年間にどのくらい市長の海外出張を実施されていたのか。また、その予算、市職員出張予算はどれくらいか。また、海外へ行くときの選定ポイントはどこか。</p> <p>【答え】 令和4年なし 令和3年550万</p>	
	<p>・新市長が初代海外戦略室長であり海外戦略をけん引し、これまで市長のトップセールスを支えてきた立場から、自らが市長としてトップセールスを行うと考える。トップセールスはどのような効果があるか。</p>	義本議員
	<p>・地域住民のインバウンドについての理解度は。</p>	前田議員
	<p>・海外戦略として職員の派遣先と外国人宿泊者数(国別)とリンクしていないように思うが、多くの国から魅力を持ち高山市へ行きたいと思わせた魅力は何か。</p>	太田議員
	<p>・外国人旅行者が求める「ありのままの日本に触れる」ことが戦略の一つとして挙げられているが、「地元食材を使った料理体験」「田園地帯」「ごくありふれた中華料理店」はこの地域でも存在するものであるが、高山市が選ばれ外国人が求めたものと合致したものは何か。</p>	太田議員
	<p>・昭和の時代に既に、国際観光都市宣言をし、海外に目を向けて取り組んでおられる。平成23年に海外戦略室を設置してから積極的なプロモーションに変化しているが、室を設置した効果は大きいと考えてよいか。</p>	義本議員
	<p>・海外に目を向けるということは、一般的に地方は閉鎖的と言われるが、海外の文化や風習にも目を向けるということにつながっていると思われるが、市民の生活や意識にどのような影響があるか。</p>	義本議員
	<p>・ムスリム対応のお店が比較的多いが、何か施策をされたのか。</p> <p>【答え】 民間の方が立ち上げて支援している</p>	前野議員
	<p>・「自らの魅力や価値を高めることを国民的な広がりのある取り組みとすることで、『日本ブランド』の確立につながり、多くの方に訪れていただける観光地」となるとされている。「自らの魅力や価値」はなにか? あえて「日本」「国民」とされているのはなぜか。</p> <p>【答え】 飛騨高山より日本というブランドが大事。</p>	前野議員

## 5. 視察内容

### 2 日目

飛騨市の観光：地域資源の価値創造とその仕組みづくりについて

飛騨市 農林部 林業振興課 竹田慎二課長

#### 飛騨市の概要

岐阜県の最北端に位置し、北は富山県、南は高山市、西は白川村に接しており、県庁所在地の岐阜市から約 150km、高山市の北約 15km に位置している。

周囲は 3000m を越える飛騨山脈などの山々に囲まれ、総面積は 792.53 km<sup>2</sup>その内約 93%を森林が占めている

#### 森を生かした地方創生について

##### (1) 林業と広葉樹

森林林業基本計画：針葉樹と広葉樹の割合は 50%50%。

日本の林業政策はほぼ針葉樹人工林に限定されている。

戦後の拡大造林政策で植林された。

日本の家具産地は全国に数か所あるが、飛騨家具は広葉樹が使われている。

家具の多くは輸入材で作られている。

国産広葉樹の約 94%はチップにされていた。

針葉樹は単調：安定・確実・単純・明確

広葉樹は多様：変動制・不確実・複雑・曖昧

広葉樹は成長が遅いので 17年から 85年で伐採されている。

##### (2) 広葉樹の価値創造

###### ①主体を作る

平成 27 年 株式会社飛騨の森でクマは踊る（通称：ヒダクマ）設立。

事業拠点 FabCafe Hida（ファブカフェ飛騨）

デジタルものづくりカフェで、地元の人と交流もでき、宿泊滞在して工房でプロトタイプピングをすることが出来る。

クリエイターのアイデアの実現可能性を高める。

木材及びその使い方について学ぶ。

小径木広葉樹の活用事例の紹介。

## ②仕組みを変える

小さなまちだからこそできる。

川上から川下の連携。

円卓会議、セミナー、活用先進事例研究。

課題解決に資するアクションプランの作成。

飛騨市の広葉樹活用推進コンソーシアムの設立。

コンソーシアムによる広葉樹活用現地検討会。

1.5m以下はチップにするしかないという既存の考え方を変える。

地域おこし協力隊、コンシェルジュがアシスタントをする。

## (3) 広葉樹の安定供給に向けて

価値の高い森づくりを目指す、スイス・フォレスター研修。

広葉樹は国のテコ入れはない。

価値の高い森づくり、有識者の指導・助言体制の整備。

森林総合研究所関西支所との連携。

広葉樹の安定生産に向けて、天然林の試験伐採。

午後からはファブカフェ飛騨で現地視察

飛騨市 株式会社 飛騨の森でクマは踊る 松本 剛 代表取締役

### ・具体的には何をしているのか

店舗の改装。

既製品とは違う家具を提供する。

保育園の遊戯物の作成。

卓球のラケット、木のクレヨン等販売。

使いどころがない、森の入り口、木の出口をつくる。

空き家を活用しリノベーション。

爪楊枝に使われる香りの出る香木。

KUROMOJI コーヒー。

近くにある森にこんなものもあるということを知ってもらいたい。

イベントを開催し環境学習を行っている。

アイスクリームスプーンをつくる。

飛騨の木を使って葉材を売る。

地域にどういう資源があってどう使われるのかを学習するしくみづくり。



宿泊施設を作り滞在時間を長く居てもらう環境整備。

木に触れる木工体験やカンナを使っての箸づくり。

蔵を活用した本格的な木工作業場所を開設。

オープン当初は外国人の反応が良く、1ヶ月滞在し研修をした。

普段は最先端なIT関連の仕事するメンバーが実体験した。

地元のメーカーにデザインアイデアを提供して一緒に新しい作品を製作。

自分たちの技術がデザイン分野でも使えることを知る。

広葉樹の街づくりである。

ホームセンターに売っているのは外国の輸入材しかない。

高山市のホテルのデザインを任され、飛騨の木を使って1週間滞在しホテルの壁のアート作品を製作。

「ファブカフェ」は系列として世界に13ヶ所、国内に4ヶ所設置。

## 飛騨市 視察質問

テーマ 1	「飛騨市の森を活かした地方創生」	質問者
	・効果的な林業の魅力発信をどのようになされているのか。	西田議員
	・林業分野でも人材不足が深刻だ。飛騨市における人材育成はどのように進められているのか。 【答え】 人材育成 やっている	西田議員
	・林業に関わる方の数と連携の現状と課題はなにか。 (会社・団体数と人数規模も合わせて) 【答え】 飛騨市はほぼ森林組合 一人親方はあるがすでに契約で決まっている 団体1つ 民間2～30	前田議員
	・93.5%の森林のうち68%を占める広葉樹天然林。しかし、平均胸高直径が26cmと家具での活用は難しい。飛騨市には飛騨牛など和牛ブランドまで成長した自慢できるものがある。そのような中、何故広葉樹(雑木材)に光を当てたのか。	太田議員
	・広葉樹のまちづくりのきっかけはどのようなことか。	義本議員
	・現市長は県庁職員出身であるが、この事業に県職員として県職員時代に携わってきていたのか。	義本議員
	・取り組みにより林業従事者や林業社、木材加工業者はどの程度に変化したのか。	前野議員
	・森林環境増進税の利用状況は。(主たる目的の森林整備と森を活かした地方創生事業) 【答え】 不用額 実施できない分は基金に積む 4月1日に取り崩す 7800万	前野議員
テーマ 2	株式会社飛騨の森でクマが踊る の活動について	質問者
	・広葉樹の活用方法はどのようにされてるのか。今後の展開はどのように考えるのか。	西田議員
	・官民出資で多彩な事業展開されているが、比率の変化の原因？ 【答え】 運営は民間にまかされ、開発できる環境が整える。増資した。	西田議員
	・多彩な事業展開が行われているが、収支状況及び今後の展望と課題はなにか。 【答え】 収支状況 7期 売上1億円 収支 経常利益 平均 10～1000万プラス マイナス 安定した経営したい 新しいチャレンジ 可能性とリスクがセット	西田議員
	・イベントの効果的な周知方法はどうか。結果としてイベントの参加人数(市民、外部)はどのようになっているのか。 【答え】 SNS でうまる WEB サイト 名刺交換してかかわりを広げる	竹中議員

	毎月メールマガジン 8000人 100%外部もある 半々くらい	
	・民間企業との合同会社を立ち上げるうえで難しかった点はなにか 【答え】 民間的 議会への報告が面倒くさい	前田議員
	・株式会社飛驒の森でクマは踊るはそれぞれ特徴=強みを持った企業で構成されているが、設立までは簡単ではなかったと推測できるが、どのようにヒダクマを設立できたのか。 【答え】 竹田さんにお任せ	太田議員
	・ヒダ熊関連して市外からの移住者の増加状況は。 【答え】 ヒッチハイクの若者が滞在 移住した	前野議員
	・ヒダ熊の目的の一つがまちづくり。まちがどのように変わったのか。 これからの展望はどうか。	前野議員
	・交流人口の増加。大学や企業の合宿やアーティストインレジデンスの受け入れ状況は。 【答え】 視察多い	前野議員

## 〔視察の感想〕

高山市の人口規模は豊岡市と同等であるが、面積が3倍で日本一広い市である。市面積の約92%が森林(豊岡市は8割)。高山市の中心地は歩道が広く段差も少なく徒歩での散策が全く苦にならなかった。昭和の時代に、国際観光都市宣言をし、市役所内に海外戦略室を設置。市長がトップセールスを行うなど積極的なプロモーション活動を行っていて、観光都市としてはとても進んでいると感じた。市役所と議会も同じ国際観光都市としての課題や成果について意識が統一されていると思った。町の中を散策すると観光センターには外国人観光客のために数か国語に対応しており、さらに街の飲食店のメニューも数か国語で表示されていた。市全体で異文化を理解してこようとして努力が実ったものだと考えられる。国際観光都市宣言をしているのであれば、例えばジェンダーギャップ対策への意識は高いのではないかと期待をしたが、若者回復率に関しても豊岡市のように男女で分けて分析は行っていなかった。コロナ前は観光で大成功し交流人口が多いため、そこまでの危機感はないように感じた。市役所の正面玄関を入ると1階に市民生活に関する窓口全てが揃っていて、「子どもの発達相談窓口」「高齢者地域包括支援センター」等大きな字で受付に掲げられていてとても分かりやすかった。しかし、わかりやすいが人目を気にして相談を躊躇するのではないかと感じた。また、入り口付近に来年度の保育所等の申込書が長テーブルに置かれていてとても分かりやすく、市民にとって親切だと感じた。自由時間に古い町並み等の観光地を抜けて高台にある図書館に足を運んだ。図書館の入り口で「子ども発達支援センター」のリーフレットが目につくところに置いてあり、子どもの相談窓口一覧も掲載されていた。子育てについて、保健・福祉・教育の専門スタッフが子育て支援課内に配置したと記載があり、子どもの窓口の一元化が図られているのではないと思われる。

飛騨市は、人口規模や市役所の雰囲気は養父市によく似ていた。林業に関しては林業施策の基本を学ぶことができた。広葉樹で地域創世の町おこしのきっかけは、消滅都市と言われ、何とかせねばという苦しみの中から生まれた。実績が全国から注目されているにもかかわらず、まだ新しい取り組みなので市民や議会の理解は高山市とは異なるように感じた。担当者の方の説明は、熱い思いや悔しい思いが錯綜した「奮闘記」であった。議会副議長のあいさつで初めて、東大の素粒子研究所スーパーカミオカンデが飛騨市神岡町にあることを知った。市役所内のポスターを見て「きみの名は」のモデルとなった市であったことにも気付いた。市役所の入り口に「市長へ提案『どうやなボックス』』というのがあり、「5人以上集まれば『お出かけ市長室』』という政策もありとても興味深かった。移動の関係から滞在時間が午前中のみと短かったのがとても残念であったが、今後の動きがとても気になる市であった。

2市を視察し、新たな挑戦に市民の理解が得られるには、効果の実感を市民が気付いたり感じたりすることが必要で、それなりの時間も必要であることもわかった。トップの決断だけでも進まないし、現場の頑張りだけでも限界がある。奮闘中の飛騨市の取り組みは今後も目が離せない。組織の中では、同調圧力が働き他の人と異なることをするにはかなりのエネルギーが必要である。実際に訪れて話を聞き、街の様子を観察することは大きな学びとなり、とても有意義な視察であった。

【4会派合同視察状況】



高山市 議場



飛騨市役所



ファブカフェ飛騨



ファブカフェ飛騨



ファブカフェ飛騨